

だいごう 令和4年1月1日発行 (1・4・7・10月発行/年4回)

ちいすう ふあ

# 七色花



ちゅうごく ちいすうふあ まほろし はな はな み ながい かな い  
中国で「七色花」とは 幻の花であり、この花を見つけたら願いが叶うと言われ  
ています。また、七色は「虹」の色であることから、それぞれの色を表す各職員  
が、帰国者との架け橋になれることを願って名づけました。

【発行者】  
ちゅうごく・しこくちゅうごくきこくしゃしえん・こうりゆう  
中国・四国中国帰国者支援・交流センター  
しゃかいふくしほうじん ひろしまけんしやかいふくしきょうまかい  
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

〒732-0816 ひろしましみなみくひじやまほんまち12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

七色花做为传说中的奇幻之花，据说找到七色花许愿后即可心想事成美梦成真。此外七种颜色象征七色彩虹，中心的每一位职员各借一色，希望以此架起归国者支援工作的彩桥。

まんしゅういみん しやしん てん

## 満洲移民の写真・パネル展

だい かいちゅうごくざんりゅうにほんじん たいけん き かい

## 第13回中国残留日本人の体験を聞く会



## 満洲移民图片・資料展

## 第13回遗华日本人经历听讲座

ひろしましなかく こうじんしや  
広島市中区の合人社ウエンディひと・ま  
ちプラザで、11月23日（火）に「満洲移民  
の写真・パネル展」と「第13回中国残留  
日本人の体験を聞く会」を開催しました。  
体験を聞く会では、「1991東北三省 人  
と時代を追った旅」と題して、中国で残  
留孤児を取材した経験をお持ちである、  
中国新聞特別論説委員の佐田尾信作氏に  
よる講演が行われ、「中国残留日本人、  
中国帰国者を知ろう」「中国帰国者が抱  
える生きづらさ」と題して、広島大学人間  
社会科学部研究科の河本尚枝准教授によ  
る講義が行われました。また、中国帰国  
者1世による貴重な体験の発表があり  
ました。  
発表した岩井梅子さんは、帰国後、言葉  
の壁に苦しむなど、辛苦の人生を語られま  
したが、今では、和紙ちぎり絵などを通じ  
て日中伝統文化の相互交流に尽力さ  
れ、「両国に意義のある活動が続けること  
が人生の目標」と話されました。  
参加者は、「中国残留日本人の苦しみ  
を知ることができた。戦後処理の不十分  
さを感じた」と声を詰まらせていました。  
体験を聞く会には75人もの方が集ま  
り、盛会裏に終わりました。



11月23日（周二）在广岛市  
中区的市民交流会馆举办了「満洲  
移民图片・資料展」，并召开了「第  
13回遗华日本人经历听讲座」。  
听讲座特别邀请了，拥有多次  
采访遗华日本人经验的中国新闻  
社特别评论员佐田尾信作先生，以  
「1991 东北三省 追逐人和时代  
的旅程」为题进行了演说。然后由  
广岛大学人间社会科学研究科的  
河本尚枝准教授分别以「了解遗华  
日本人・中国归国者」和「中国归  
国者们生活上的困苦」为主题进行  
了讲座。最后由中国归国者1代发  
表了宝贵的体验谈。  
体验发表者岩井梅子女士在  
历尽万难回到祖国后，最为之所困  
的是语言不通。如今她全身心投入  
到和纸贴画当中，希望这项手工艺  
可以成日中文化交流的桥梁。她表  
示今后仍然会以此为目标，并尽自  
己所能为此而努力。  
听讲座后参加者们纷纷发表了  
「了解到遗华日本人的困苦。以  
及战后处理不够完善」等意见。  
最后本次听讲座以共聚集来宾  
75名的盛况圆满落下了帷幕。

## 小学校の同級生との70年ぶりの再会が実現

7月に開催した「体験を聞く会」をきっかけに、10月17日（日）の中国新聞に、現在の安芸高田市から満洲（現中国東北部）に渡った高田開拓団の記事が掲載されました。記事の中には、高田開拓団の数少ない生存者である宮部玲子さん（87）の半生が綴られています。

1945年4月、一家9人で開拓団に加わり、吉田町から吉林省徳恵県（当時）に移住し、4ヵ月後、日本が戦争に敗れました。そのため、逃避行を余儀無くされ、宮部さん一家は飢餓や感染症に直面し、両親は亡くなり、兄弟も散り散りになりました。そして、中国人一家に引き取られた宮部さんは、残留孤児として中国・吉林省で40年以上の時間を過ごした後、同じ開拓団出身の残留孤児の助言で日本への帰国を申請し、90年に永住帰国をされました。

宮部さんは、日本に帰国がなかった当時の情景を鮮明に覚えておられ、また、幼少期の記憶について、「大きな柿の木があって、その木になっている実を弟に取ってあげたこと」「桜の花がきれいで、満開の木の下で家族写真を撮ったこと」など、懐かしい思い出を語られています。

この記事を目にした奥谷ツギエさん（宮部さんと吉田小学校の同級生）が、当時のことをとても懐かしく思い、宮部さんと連絡を取りたいと当センターに連絡をくださり、約70年振りの再会を果たすことができました。

再会の折には、昔の歌や校歌を口づさんだり、覚えていた場所や同級生の写真を見て、懐かしくお話をされたそうです。

とても楽しい時間をすごされたことを聞き、嬉しく思いました。これからも、帰国者のみなさんに楽しい時間を少しでもたくさん過ごしてもらえるよう尽力していきたいと思ひます。



宮部さん（左）  
奥谷さん（右）



# 一则新闻成为

## 与小学同窗时隔70年重逢的契机

10月17日（周日）的中国新闻报导了7月份举办的经历听讲会，详细的记录了在战争期间存活下来的宫部玲子女士（87岁）从现在的安芸高田市做为开拓团移民到满洲（现中国东北部）的近大半生的坎坷经历。

1945年4月，一家9口人加入了开拓团，从吉田町搬迁至吉林省徳恵县（当时）。短短4个月后，日本宣布战败。摆在宫部家一家人面前的只有逃难一条路。而小小的玲子在经历过饥饿，疾病，双亲离世，与兄弟姐妹失散后被中国的养父母收养，做为一名遗华的日本孤儿在中国吉林省生活了40多年后，通过出身相同的遗华日本孤儿的帮助申请回国，终于在90年回到了自己的祖国。

时隔多年终于回到自己的祖国时的情景以及幼时的记忆宫部女士至今还历历在目，“有一棵很大的柿子树，自己给弟弟摘树上的柿子吃”“全家在樱花绽放的树下拍全家福”等等。

奥谷女士与宫部女士是吉田小学的同届生，她看到这个报导后，回忆起当年的往事，于是给中心打来电话咨询是否能与宫部女士取得联系，于是时隔70年的重逢就这样奇迹般的实现了。

见面当天，两位老人一起哼唱起了当年的歌曲和母校的校歌，一起翻阅同届生的照片，熟悉的地方，记忆中的笑脸，两位老人都沉浸在重逢的喜悦当中。

经历听讲会和中国新闻的一则报导促成了这次时隔半个多世纪的重逢，希望未来的日子里还会有更多的奇迹发生。

# 広島高陽教室



# 広島高陽教室

10月21日(木)は、健康測定や、「高齢者のインフルエンザ予防接種の助成制度」をテーマに保健師さんからお話しを聞いたり、握力測定をしたり、また、同時に2つの作業をすることで、脳の活性化を促進することができるコグニサイズラダーを使った運動をしました。



11月18日(木)は、和紙ちぎり絵の先生(帰国者1世)をお招きし、来年の干支である寅の作品を作成しました。



10月21日(周四)做好身体一般测量后,由保健师针对广岛市高龄者接种流感疫苗的补助制度进行了讲解。随后进行了一年一次的握力测试。最后还利用Koguni 梯绳做了健脑运动。据了解,同时进行两个动作可以促进大脑的活性化,大家不妨也试一试。

11月18日(周四)邀请了1代归国者为讲师,一起制作了明年的生肖“虎”的和纸包画。

## web会議

ちゅうしこくしえんきかんれんらくかい / しえんしゃけんしゅう

## 中四国ブロック支援機関連絡会/支援者研修会

8月27日(金)に、中四国ブロックの行政担当者を対象とした支援機関連絡会をオンラインにて開催しました。帰国者の歴史やセンターの事業内容を紹介し、また、今後の支援のあり方について意見交換をしました。

9月10日(金)には、医療通訳研修をオンラインにより実施し、専門用語や医療知識、医療現場でのトラブルや困りごとを解決するためのノウハウを、支援相談員さんたちに学んでいただきました。



## 视频会议

## 中四国地区支援機関連絡会/支援者研修会

8月27日(周五),以中四国地区行政机关负责人为对象举办了支援机关联络视频会。会上介绍了归国者的历史及中心的业务内容,并针对今后的支援方向进行了意见交流。

9月10日(周五)同样以视频会议的形式举办了医疗翻译讲座。针对专业术语·医学知识和在医疗翻译现场的应对技巧进行了全面的学习。



Web 会議 \* 视频会议

## ディスクゴルフ講座

11月20日(土)にディスクゴルフ講座を広島市中区スポーツセンターで開催しました。みなさんフライングディスクをゴールに向かって上手に投げていました。3ゲームが終わった頃には額に汗が滲むほど、身体をしっかりと使って楽しみました。



## 飞盘高尔夫教室

11月20日(周六)在广岛市中区运动中心举办了飞盘高尔夫教室。多彩的飞盘在参加者的投掷下竞相舞动。竞技游戏总是令人忘我,3轮游戏过后参加者们的额头上都沁出了汗水,全身得到了很好的运动



# 1月～3月の予定



# 1月～3月的预定

1月20日	広島高陽教室	〔広島県〕	1月20日	広島高陽教室	〔広島県〕
2月17日	広島高陽教室	〔広島県〕	2月17日	広島高陽教室	〔広島県〕
2月21日	次世代への継承	〔広島県〕	2月21日	向下一代传承	〔広島県〕
2月未定	広島県異文化交流会	〔広島県〕	2月未定	広島県异文化交流会	〔広島県〕

## お知らせください!



## 请与中心联系!

みなさんのご家族やご友人で「七色花」などセンターからのお知らせが必要な人はセンターまでご連絡ください。あわせて住所が変わった場合もお知らせください。

如果您的家人和朋友中，有意向接收由中心邮寄的各种通知及七色花等刊物的人，请联系我们。另外住址等信息变更时也请通知我们。

☎ 082-250-0210

☎ 082-250-0210

## 投稿・写真募集



## 征集投稿·照片

あなたも「七色花」に記事や写真を載せてみませんか? 原稿の場合は400字以内でお願いします。写真の場合は短い説明文をつけてください。なお、紙面の都合により、掲載されない場合がありますので、ご了承ください。みなさまからの投稿・写真をお待ちしています。

您不希望把自己的文章或是旅游、生活小趣的照片登载在「七色花」上吗? 原稿字数请控制在300字以内。照片投稿需附上简短说明。此外,由于版面幅度的限制,如有不能登载的情况,敬请见谅!我们期待您积极踊跃的投稿和照片!

## 編集後記



## 编辑后记

すっかり冬になりました。みな様は、いかがお過ごしでしょうか。今回の七色花がお手元に届くのはお正月前後だと思えますが、お正月の準備はできましたか。日本では大晦日に「年越しそば」を食べる習慣があります。そばは細く長いことから「長寿」や「健康」「家運長命」などの願いも込められています。さらに、そばはうどんなどよりも切れやすい特徴があるので「一年の不運や災いを断ち切る」という意味もあるようです。年が変わるまでに食べきって、良い年を迎えましょう。(金山)

寒冬就这样如约而至，大家一切都可安好？这次的七色花寄到大家的手上应该正值岁末年初，相信大家都已经做好了迎接新年的准备。日本的习俗要在过年前吃一碗过年荞麦面。荞麦面又细又长象征着「长寿」和「健康」，还承载着「家族兴旺」的寓意。跟乌冬面相比荞麦面更容易切断，有着「斩断厄运」的含义。所以，我们一定要在跨年之前把过年荞麦面吃掉，迎接一个崭新的新年。(金山)